板橋第六小学校　新校舎の設計を進めています！

設計のポイント

新しい体験・経験の場をつくる

普通教室の壁の四面全てで大小の黒板・ホワイトボードを利用でき、教室の前後を固定しない、方向性のない教室をつくります。また、これまでの標準的な特別教室の準備室空間を見直し、共用部とも連携が可能なスペースとします。



これまでの「正面」にとらわれない、自由な教室の使い方ができる普通教室



一人一人に寄り添った場所をつくる

共用部の各所に自由に集まれる場所、本を読める場所、発表できる場所、リラックスできる場所などを設け、施設全体に子ども達のための最適な学びの場・憩いの場をつくります。



小学校と地域みんなが使いやすい場をつくる

小学校と地域の接点として、さまざまな交流が生まれるピロティと、校務センターとオープンにつながるエントランスホールを設けます。



ピロティ



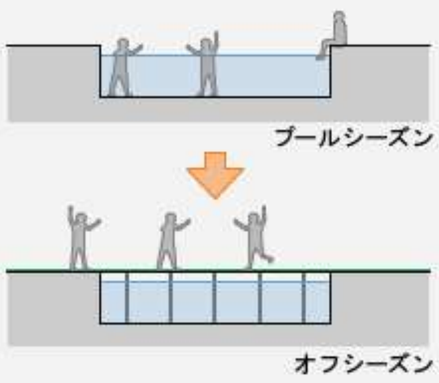
エントランスホール

学校全体を最大限に活用する

子ども達がほっと一息ついたり、ともだちと遊んだりできる屋上スペースや、オフシーズンも運動スペースとして利用可能な屋内可動床プールをつくります。

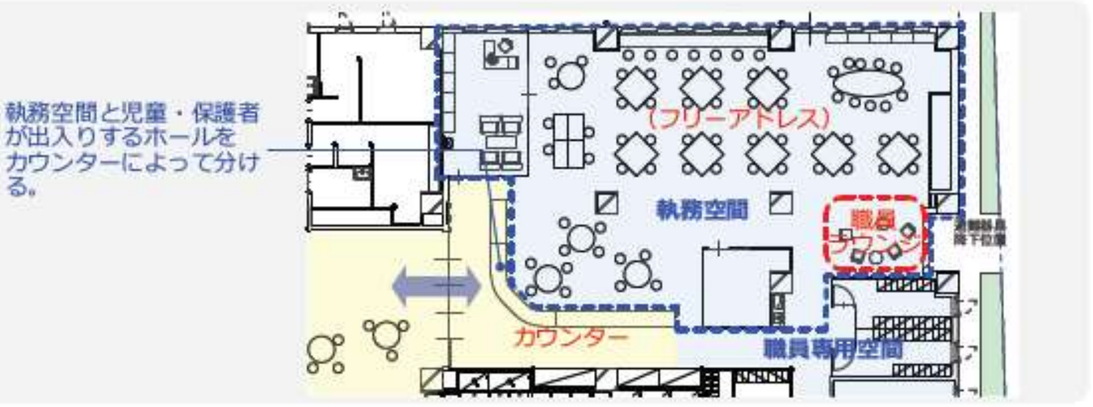


屋上スペース



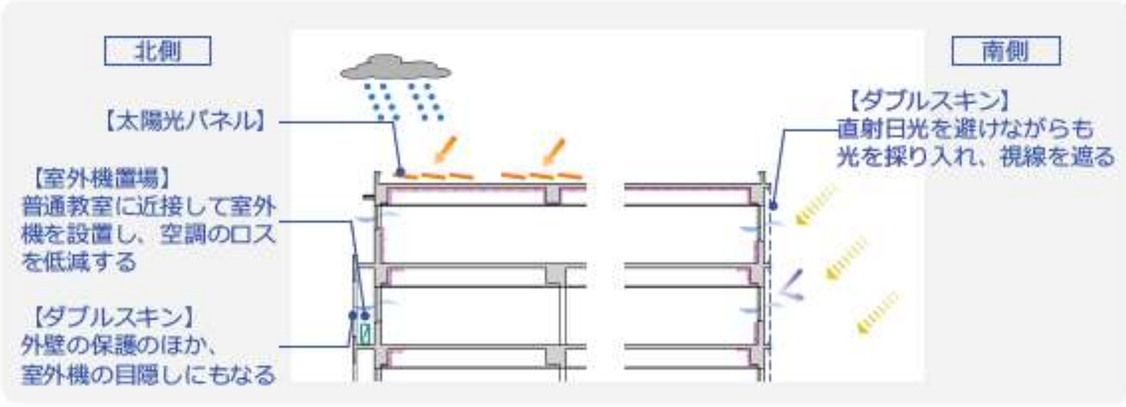
先生にとって居心地の良い環境をつくる

校務センターはフリーアドレスとし、働き方に合わせてレイアウト変更が容易な設えとします。カウンター内の執務空間には職員ラウンジを設け、先生が働きやすい環境を整えます。



環境に配慮した建物をつくる

北側普通教室外壁はダブルスキンとし、空調室外機を各教室の近くに配置します。空調のロスを低減し、環境負荷低減を図ります。



児童ワークショップ結果（令和7年11月25日実施）

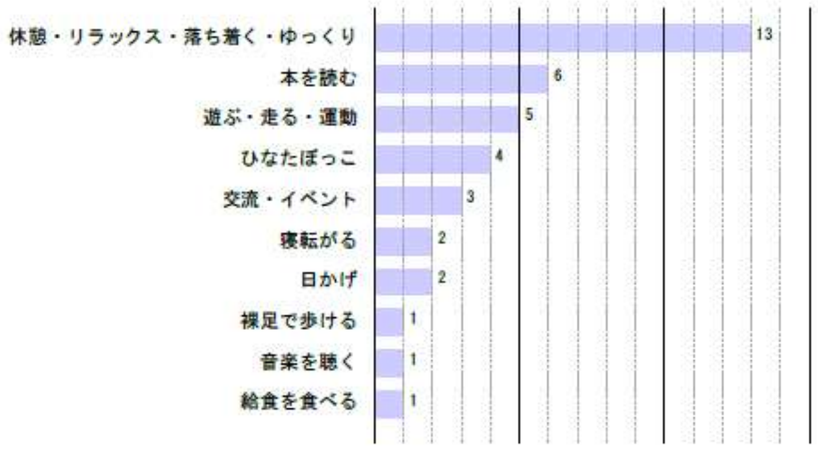
「どんな屋上スペースがいいかな？」というテーマでワークショップを実施しました。

・令和７年１１月２５日（火）
・板橋第六小学校　５年１組、５年２組
・グループワークを行い、A1サイズの用紙にアイデアを自由に記入（ふせんやパースへの書き込み）
・グループごとに考えたこと、アイデアを発表





ワークショップ集計結果より多かった意見
①休憩できる場所・ゆっくりできる場所
②みどり豊かな空間
③遊び場としての空間



【実施設計検討内容　参考例】





ネットハンモック 設置イメージ

※画像はAIを使用して作成しています